

## 令和2年度奈良県環境審議会水質部会（第1回） 議事録

日時 令和3年1月18日（月）  
14:00～14:40  
場所 ICT推進室会議室  
Webによる会議

○桐山係長及び村上主査が概要について説明（～27'40"）

○質疑応答（28'43"～）

岸本委員：資料2「令和元年度公共用水域及び地下水の現況について」の、水系別環境基準達成状況の推移について、季節変動等もあるので、ある程度の達成状況の変動も仕方ないと思うが、令和元年度は全体的に達成状況が悪いように思う。特に新宮川水系が今まで90%、100%だったものが、いきなり56%になった。淀川も過去に39%の時もあったが、近年改善傾向にあったものが、令和元年度は46%に悪化している。県はモニタリングしているが、令和元年はこれまでと比べて、特異な状況があったのか。

地下水の継続監視調査は、五地点で実施している。令和元年度は四地点で引き続き基準を超過し、一地点は基準以下であったという報告であった。基準値を超過したときは、毎年継続調査をするとのことだが、基準値を満足したときに継続調査を終了する基準があれば教えてほしい。

桐山係長：淀川水系、新宮川水系の達成状況が低い件

採水は業者委託しており、県の景観・環境総合センターで分析している。透視度が30cm以上なければ採水しないようにしている。今のところ、透視度の異常値の報告はない。淀川水系、新宮川水系の環境基準達成率の低さは、推測ではあるが、気候的に水量が少ないのではないかと、そもそも基準値が厳しいこと、また測定回数を減らしていることから、絶対値の数字は低いが、1回でも基準値を超過すれば、なかなか基準を達成することが難しくなる。

地下水の継続調査の解除条件は、三年連続で基準値を満足すれば、継続調査から外すこととしている。

岸本委員：環境基準達成状況については、全体的に数値が上がっているのではなく、（75%値）4分の1の数字がスポット的に高い数値がたまたま出たという状況である、ということではよろしいか。

桐山係長：必ずしもそれだけではないと考えているが、データを見れば、異常値とまではいかないが、高い値が4回の内、1回は出てしまっている状態である。

岸本委員：分かりました。

中野委員：現在、来年度から五カ年の新奈良県環境総合計画が検討されており、水質に関する記載があったと思うが、この令和三年の水質測定計画により、環境総合計画のなかの水質に関する部分を強化する、というような影響があるのか。

桐山係長：総合計画は、令和七年度を目標年度としており、水質測定計画は単年度計画であり、令和元年度、令和二年度の状況を計画に反映させている。相互の計画は直接リンクしていないが、環境基準のBOD75%値の達成率を指標としている点はリンクしていると思う。

中野委員：今後何らかの形で関係することはあっても、この測定計画については特に問題ない、関係な

いということですね。

桐山係長：総合計画のなかに良好な水質の保全というものがあるので、それを達成するために、毎年細かく考え方などの見直しを行い、測定計画を策定している。

中野委員：ありがとうございました。

惣田委員：資料2の4頁、地下水の環境基準値超過井戸について、檀原市南山町の地下水の硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素について、環境基準値が10mg/Lに対して、41mg/L検出している、H30も44mg/L検出している。この辺りの地下水はすごく流れがゆっくりで、一度汚染されてしまうと数年間は汚染が続くというような解釈で良いか。

桐山係長：地下水の流向までは把握していないが、どちらかということこの辺りの地形は起伏の激しいところである。むしろ地下水の流れは速いのではないか、ということではあるが、その井戸が斜面にあるのか、平らなところにあるのかまでは把握できていない。この南山町は丘陵地というか丘の多い地形となっている。

惣田委員：畑や水田には近いということですね。

桐山係長：そうです。

惣田委員：ありがとうございます。

村上主査：資料5について簡単に説明

資料5についての質問

中野委員：3枚目裏側、室生ダム3箇所と布目ダム3箇所は、測定箇所が追加になったということで、変更箇所の色がついているのか。

村上主査：昨年までは、室生ダムサイト、布目ダムサイトという採水地点名であったが、水資源機構から申し出により、令和3年度から分かりやすい名称に変更しています。

中野委員：場所は変わらないが、名称が変わったということで良いか。

村上主査：はい。

中野委員：ありがとうございます。

惣田委員：次回から、PFOS・PF0Aが要監視項目として測定することになるとのことであるが、県の機関で測定するというのではなく、外部の機関で測定するということが良いか。

桐山係長：はい、外部委託する予定です。

惣田委員：それと同時に、県の機関でも測定できるように検討していくということですね。

桐山係長：はい、景観・環境総合センターで一年間かけて分析方法を開発してもらう。

惣田委員：はい。

追加

桐山係長：中野委員ご質問の、測定地点の名称変更については、資料5の備考欄に、分かりやすいように表記します。

惣田委員：備考欄に追加して、この計画を部会として了承する旨を環境審議会の委員の皆様へ報告することとします。